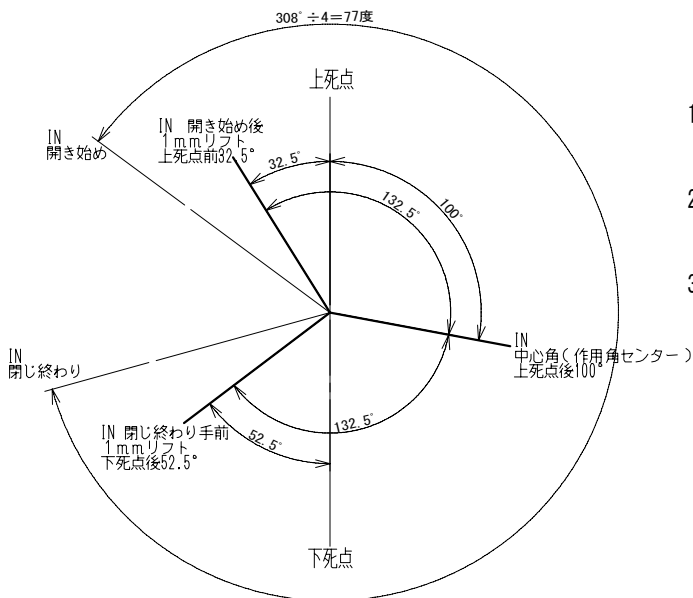


1mmリフトバルタイ 中心角の求め方 (77度組付け例)

L型 亀有マスター77度 i カムシャフト

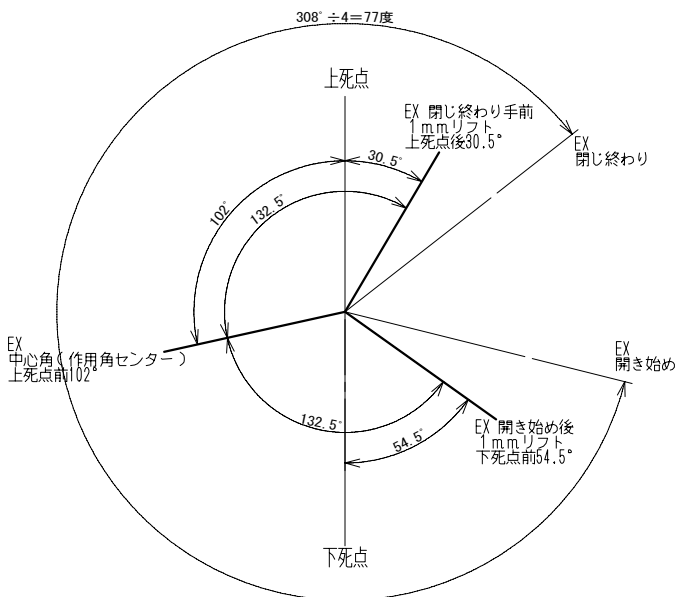
	クリアランス	開 (1mmリフト時)	閉 (1mmリフト時)	中心角
IN	0, 3mm	上死点前 32, 5度	下死点后 52, 5度	100度
EX	0, 3mm	下死点前 54, 5度	上死点后 30, 5度	102度



「インテーク 中心角の求め方」

- 1mmリフト内でバルブが開いている角度を合計する。
 $上死点前32.5^\circ + 上死点から下死点まで180^\circ + 下死点后52.5^\circ = 265^\circ$
- 1mmリフト作用角を2で割りセンターを求める。
 $265 \div 2 = 132.5^\circ$
- センターの位置が上死点后何度にあたるか求めるため、上死点前の値を引く。
 $132.5^\circ - 32.5^\circ = 100^\circ$

中心角=100度



「エキゾースト 中心角の求め方」

- 1mmリフト内でバルブが開いている角度を合計する。
 $下死点前54.5^\circ + 下死点から上死点まで180^\circ + 上死点后30.5^\circ = 265^\circ$
- 1mmリフト作用角を2で割りセンターを求める。
 $265 \div 2 = 132.5^\circ$
- センターの位置が上死点前何度にあたるか求めるため、上死点後の値を引く。
 $132.5^\circ - 30.5^\circ = 102^\circ$

中心角=102度

■ 1mmリフトバルタイを推奨する理由

- ①作用角バルタイ (バルブの開き始めから閉じ終わりまでの作用角を測定して、その中心を求める方法)
 バルブの開き始めや閉じ終わりの角度は、バルブクリアランスの僅かな違いで大きく作用角が変化してしまい不安定です。1mmリフト地点ではバルブクリアランスの影響を受けづらく、計測が安定します。
- ②最大リフトバルタイ (バルブの最大リフト位置を中心角とする方法)
 バルブの最大リフト地点は必ずしも作用角のセンターとは限りません。カムシャフトの設計上、非対称形状の場合が多いので最大リフトバルタイはオススメできません。
- ③整備要領書バルタイ (タイミングチェーンの合いマークとスプロケットのマークを合わせて組付ける方法)
 純正カムシャフト以外のハイカムではノックピンとカム山の位置関係が異なるため、バルタイに大幅なズレが発生する恐れがあります。



〒340-0808 埼玉県八潮市緑町3-1-16
株式会社 亀有エンジンワークス
 TEL 048-998-2323 FAX 048-997-9085